

交通安全教室講演演会

大成高で 高山弁護士迎え

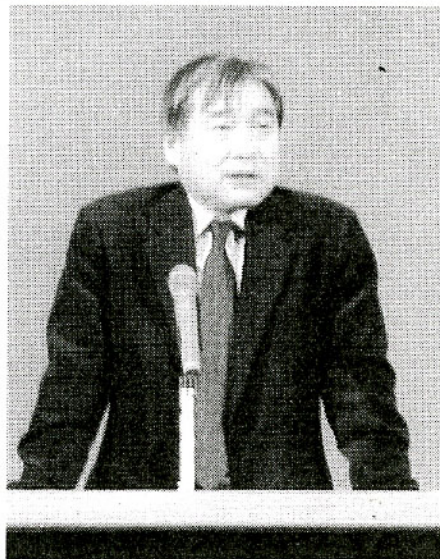
県教育委員会から交通安全教育実践地域該当学校として選定されている、野上町動木の県立大成高校（小島第一郎校長）は十五日、交通安全教育の一環で、東京都から高山俊吉弁護士を招き講演会を同町中央公民館で開いた。参加した生徒ら約四百四十人は、交通ル

ルを守ることの重要性とそれに伴う責任や、命などについて考えた。

高山弁護士は、交通法科学研究会の事務局長を務めるほか、日本交通法学会、国際交通安全学会など多々の機関に所属。業務上過失致死傷事件や道路交通法違反事件の刑事弁護活動のほか、交通

事故の賠償請求事件の代理人活動などに取り組んでおり、市民の立場から交通事故や交通取締り、都市交通問題に関して発言することが多く、この日、同校を訪れ「高校生活と交通安全のつながり」と題して講演した。

また、これまで取り組んだ交通事故訴訟の事例を数件挙げ、事故の犠牲者の残された家族の様子や辛い気持ちを伝えるとともに、事故を起こした当事者の責任問題などについても話し、生徒らに「車を利用するということはどういうことかをしっかりと自覚し、これからの交通社会を少しでもよいものにしてほしい」とメッセージを伝えていた。



講演する高山俊吉弁護士



いツールであることもに、どれだけ恐ろしい凶器になりうるものであるか、交通安全とはどういうものか知識を深め、マナーについて考えるだけにとどまらず深さを理解してほしいと生徒らに訴えるなどした。